

設計と製造をつなぐ3D活用

— 3Dデータはどこまで使えるのか? —



2026年 5月20日 水



- ・ 日時：2026年5月20日(水) 13:00 ~ 14:30
- ・ 場所：オンラインセミナー
- ・ 参加費：無料（事前登録制）



お申し込みは
こちらから

— 内容 —

設計から試作、そして生産準備まで、製品開発プロセス全体における**3Dデータの活用**はますます重要になっています。

一方で、「**試作で手戻りが多い**」「**設計意図が製造側に十分伝わらない**」「**設備導入時に動作干渉や作業性の問題が現場で初めて発覚する**」といった様々な課題は多くの現場で発生しています。

本セミナーでは、**3Dデータを軸に製品開発プロセスをつなぐためソリューションを3部構成**でご紹介します。

設計情報の共有方法、試作工程の効率化、生産準備での見える化など、3Dデータはどこまで使えるのか、その可能性と使いどころを解説します。



セミナーアジェンダ

13:00~13:05

オープニング

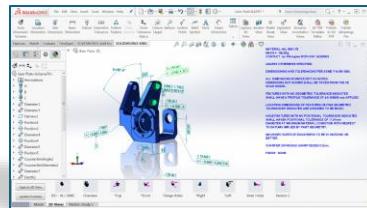


SOLIDWORKS
13:05~13:30

MBDを起点とした 設計・製造デジタル連携

SOLIDWORKS MBDは、寸法・注記・公差などの製品定義情報を3Dモデルに集約し、設計意図を正確に次工程へ伝えるための基盤です。

MBDによって定義された3Dデータが、その後の工程設計や製造検討へどのようにつながっていくのかを整理します。



SOLIDWORKS製品
CTCサイトは[こちら](#)



3DWorks
13:30~13:55

金型トライ回数削減を実現 –新製品「3DWorks」のご紹介–

量産試作の「すり合わせ」工程に必要な情報を統合し、関係部門間で効率的に情報を共有しながら、迅速な合意形成を促進し、開発期間の短縮とコスト削減を実現します。従来の紙図面や属人的な作業を伴う課題を解消し、試作から量産準備までのプロセスを革新します。

工場可視化・事前検証で手戻り防止

–DELMIAによる生産ライン最適化–

工程設計における“見えないリスク”の可視化と検証を可能にする、3DEXPERIENCE DELMIAの活用法をご紹介します。

ロボットを含む複雑なライン設計や設備配置検討を、設計段階でリアルに再現し、手戻りの発生を未然に防ぐための具体的な手法を、解説します。



3DEXPERIENCE製品
CTCサイトは[こちら](#)



14:25~14:30

クロージング

本セミナーやSOLIDWORKS製品、3DEXPERIENCE製品に関するお問い合わせは下記までご連絡ください

お問い合わせ先

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
産業ビジネス開発第2本部 PLM技術部
E-mail : plm_products@ctc-g.co.jp

